

## さらなる性能担保へ耐震試験

## 高所と公共・商業施設での利用を想定

## ケーワンシステム

北海道を中心に二重床の供給と施工を行っている、万協フロアーの特約店でもあるケーワンシステム（札幌市、原田慶一社長）は昨年12月、北海道立総合研究機構建築研究本部でK-1デッキ耐震試験（人工木材デッキ材+K-1デッキ）を行った。

同試験では、予定された地震波形（各種耐震試験規格）の加振すべりの試験で試験値をクリアしている。詳細は同研究機構が取りまとめ、今後、耐震性能として発表する。

同試験を行った背景には、K-1デッキがビルの屋上や大型商業施設など様々な外構工事

で利用されており、耐震性能も求められるようになって

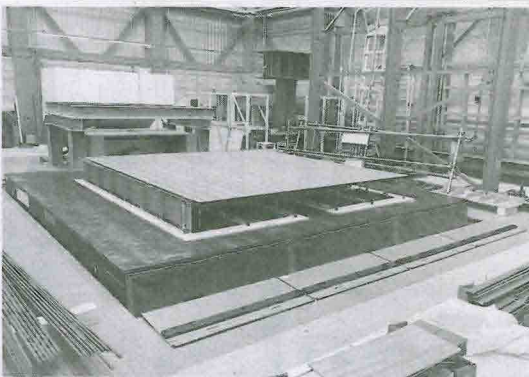
ていることがある。

これまでに、同社のデッキシステムK-1デッキ文教タイプについて、雨天での長期利用を想定し、天然木デッキと人工木デッキでの設置試験体で500時間、21日間の塩水噴霧試験を行っている。人工木仕様では目視確認の結果、白錆とわずかな赤錆の発生が認められただけで、施工現場の状況に近付けた試験体で長期に設置した場合でも、性能に影響が少なく（ことを証明した。

各種試験を行う取り組みについて原田社長は「K-1デッキは、従来の住宅や文教施設だけでなく、デッキ材として耐久性が求められる商業施設やビルの屋上での設置など、様々な

な場面での利用が増えている。今後、より求められる性能を明確にし、他社のデッキシステムとの差別化を図り、新分野での利用拡大も目指していく」と話す。

K-1デッキ文教タイプは同社の主力商品で、耐荷重性能試験や転倒衝突時の硬さ試験などを行っており、使用時の安全性が示されているため、屋外の文教施設や老健施設での採用が増えている。



北海道立総合研究機構建築研究本部でのK-1デッキ耐震試験

ようになって

様々な